

第9回アフリカ開発会議に向けた取組状況について

第9回アフリカ開発会議（TICAD9）は、令和7（2025）年8月20日（水）～8月22日（金）に横浜で開催されます。

1 アフリカ開発会議（TICAD）とは

（1）概要

- ・アフリカ開発会議（TICAD）は、アフリカの開発をテーマとする国際会議
- ・日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）と共同で開催
- ・アフリカ各国の首脳級をはじめとする要人や関係者が参加（TICAD7は1万人以上が参加）
- ・横浜市はTICADIVを契機に様々な交流を開始。「アフリカに一番近い都市」に
- ・2008年の第4回、2013年の第5回、2019年の第7回を経て、横浜開催は4回目



TICAD7 全体集合写真（写真提供：外務省）



TICAD7 子どもたちによる出迎えの様子

（2）会議開催における主な役割分担

主な役割分担ですが、日本政府をはじめとした会議主催者は、会議開催に向けた準備や調整、会議の進行など、会議本体の運営を行います。

横浜市はホストシティとして、主催者と会場等との連絡や、市民向け広報など、会議開催に向けた支援や機運醸成を行います。



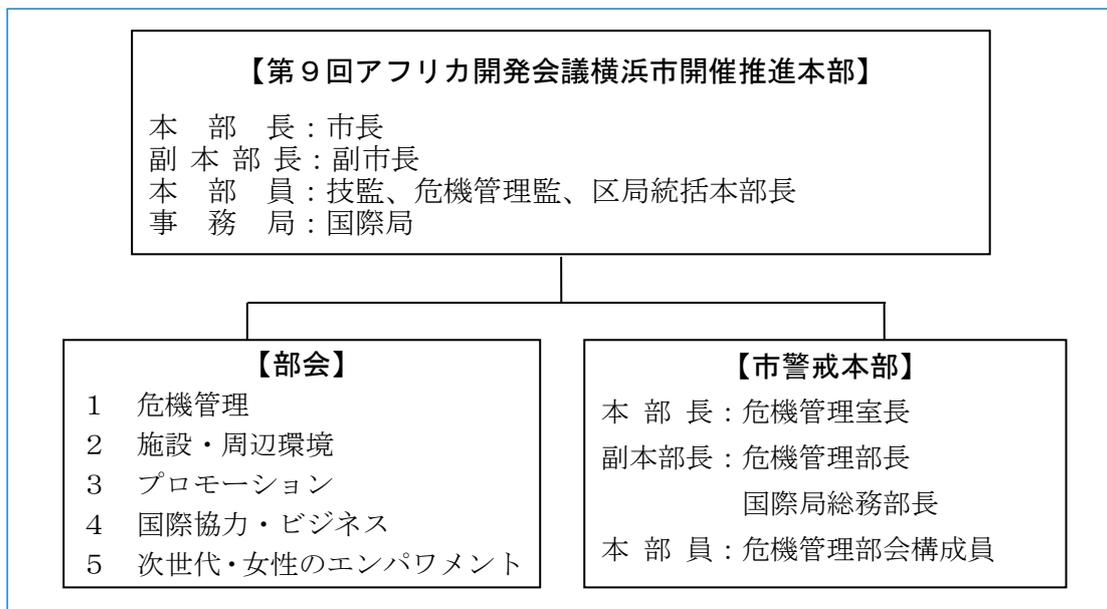
2 開催に向けた準備

安全で円滑な会議運営に貢献するため、庁内体制の確立に加え、関係各界の皆様とともに、準備を進めていきます。

(1) 庁内体制の確立

令和6年4月1日、市長を本部長とした「第9回アフリカ開発会議横浜市開催推進本部」(以下、「推進本部」)を庁内に立ち上げました。

今後、推進本部のもと5つの部会と市警戒本部を設置し、活動していきます。



(2) 関係各界の皆様との連携

主催者である日本政府と連携するとともに、TICAD7と同様にTICAD9の成功に向けて、市会をはじめ、市内・県内の関係各界の皆様と連携して取り組むため、「第9回アフリカ開発会議横浜開催推進協議会」(以下、「開催推進協議会」)を5月9日に設立しました。

【第9回アフリカ開発会議 横浜開催推進協議会】

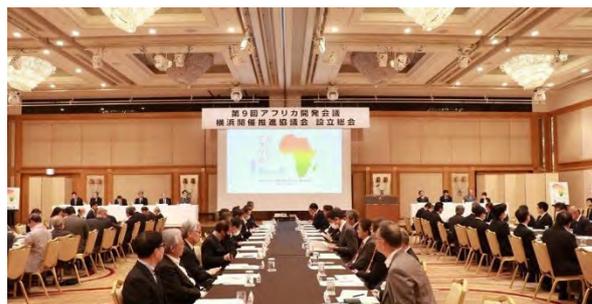
設立：令和6年5月9日(木) 県内71団体

会長：横浜市長

副会長：横浜商工会議所会頭、(一社)神奈川県経営者協会会長、神奈川県議会議長、横浜市議会議長、日本アフリカ友好横浜市議員連盟会長

特別顧問：第9回アフリカ開発会議横浜誘致議員連盟 最高顧問、神奈川県知事

顧問：神奈川県選出国會議員有志



3 TICAD9の「本市としての取組の方向性」

TICAD9の開催を通して、グローバルMICE都市としての競争力強化と魅力向上、アフリカとのビジネスを含めた連携の強化による市内経済の活性化につなげていくとともに、2027年の「GREEN×EXPO 2027」の成功への大きな弾みとし、2050年のカーボンニュートラル達成に向け繋げていきます。

上記を踏まえ、本市としての取組の方向性を次のとおりまとめました。



まず、ホストシティとして、安全で円滑な会議運営に貢献します。

さらに、開催を通じた4つの取組の柱として、「①GX・脱炭素分野における国際的な認知度の向上」「②ビジネス機会の創出・拡大」「③国際協力の一層の推進」「④世界で活躍できる次世代の育成及び誰もが暮らしやすい社会の実現」を掲げます。これらを通して「選ばれる国際都市・横浜」を世界へ発信します。

4 横浜開催決定以降の主な取組

日 程	項 目
令和5年度	
8月8日(火)	TICAD9の開催都市が横浜に決定
8月26日(土)	外務省主催「TICAD30周年記念行事」にブース出展
10月4日(水)	外務省による現地調査への対応
10月中旬 ～12月中旬	「アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)の一環として廃棄物管理研修を実施
11月14日(火)	横浜市主催国際会議「Y-SHIP 2023」のプログラムの一環として、「Africa's Growth & Business Session」(※1)を開催。 ※1 TICAD30周年記念公式サイドイベント
12月中旬 ～R6年6月	JICA横浜パネル展 「アフリカのいま、みらい(TICAD30周年と第9回アフリカ開発会議)」(※1)をJICA横浜と連携して開催
2月14日(水) ～26日(月)	「第10回都筑・ボツワナ交流児童画展」を市庁舎1階 展示スペースで開催。初日に、アトリウムにて都筑・ボツワナ 交流アニバーサリーセレモニーを実施
3月7日(木) ～4月5日(金)	JICA主催「第11回日アフリカ・ビジネスウーマン交流プログラム」に協力。アフリカの主に英語圏から女性起(企)業家及びその支援を担当する政府職員計10名が横浜を訪問。 日本にて研修・交流:3月22日(金)～4月5日(金)(※2) ※2 横浜滞在は3月21日(木)～29日(金)及び4月4日(木)～5日(金)
3月22日(金)	第9回アフリカ開発会議の日程が決定
令和6年度	
4月1日(月)	「第9回アフリカ開発会議 横浜市開催推進本部」を設置
5月9日(木)	「第9回アフリカ開発会議 横浜開催推進協議会」を設立
5月24日(金)	在京アフリカ外交団主催「アフリカ・デーレセプション2024」で山中市長がTICAD9ホストシティの市長として挨拶

上記のほか、次世代育成の取組として、令和5年度には、市内小中学校とアフリカとの交流に11校の児童・生徒が参加し、アフリカへの理解を深めました。

【参考・外務省の動き】

5月7日(火) TICAD9ロゴマーク公募開始(6月7日(金)まで)

5月17日(金) TICAD事務局設置

8月24日(土)～25日(日) TICAD閣僚会合開催(東京都内)

※TICAD9のテーマ等が決定・公表される想定

第9回アフリカ開発会議 (TICAD9) 横浜開催

2025年8月20日(水)～22日(金)

アフリカ
会いたい!



これまで築いてきたアフリカとの絆を継続し
TICAD9の成功に貢献してまいります

脈々と築き上げてきた友情の絆

共に発展・成長を続けるパートナー



国境を、言葉を超えて
つながる子どもたち

アフリカとの友情の発展・継承と
国際人材の育成に貢献



都市課題の解決と
SDGs達成に向けて

水道、廃棄物、港湾分野等での技術協力や、
女性の社会進出に貢献

TICADを契機とした横浜の主な取組

横浜は、TICAD開催をきっかけにアフリカに関する様々な取組を進めてきました。これからも、これらの取組をさらに発展させていきます。

◆次世代育成

TICADIV開催を契機にアフリカと小中学校との交流を深めています。

交流学習の実施校数は15年間で延べ**200校**以上 アフリカの**34か国**と交流

◆都市課題解決に貢献する研修実績

水道、廃棄物、港湾分野におけるアフリカ各国への技術協力など多くの視察・研修生の受入れを実施。

アフリカからの視察・研修受入れ人数 **1,200人**以上

◆経済成長と女性活躍社会を目指して

横浜経済の長期的な成長を目指し、市内企業向けのアフリカビジネスセミナーを開催しています。また、TICADVをきっかけにアフリカ各国の女性起業家及び関係政府職員をJICAの研修員として受け入れ、横浜の女性起業家や施策関係者との交流や意見交換を行っています。

TICAD9開催を通じてグローバルMICE都市横浜の魅力を発信

グローバルMICE都市としての高い会議開催支援能力や、脱炭素化に向けた取組、SDGsへの貢献を世界に向けて発信します。

(参考)横浜のみなとみらい21地区は、国が実施する「脱炭素先行地域」に選定されています(令和4年4月)。

TICADとは

Tokyo International Conference on African Development(アフリカ開発会議)の略で、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行及びアフリカ連合委員会(AUC)と共同で、これまでに8回開催しています。横浜は、これまで3回(※)開催地となってきました。

※ 2008年第4回、2013年第5回、2019年第7回

<TICAD7横浜開催時>

■ 横浜市内への経済波及効果:約27億6,900万円 ■ パブリシティ効果:155億円

2024年5月発行
横浜市国際局グローバルネットワーク推進課
アフリカ開発会議担当
〒235-0005 横浜市中区本町 6-50-10
Tel:045-671-2068 Fax:045-664-7145

横浜とアフリカの
詳しい情報はこちら



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER